

# I 2019年 4月入学 一般入試 第2次学生募集要項

## 1 募集人員

専攻	募集人員
社会基盤環境学専攻	若干人
生命環境学専攻	若干人
資源循環学専攻	若干人
生物資源科学専攻	若干人
生物生産科学専攻	若干人

## 2 出願資格

次のいずれかに該当する者又は2019年3月までに該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成17年文部科学省告示第169号参照）
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の研究科に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
- (10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したものの
- (11) 大学に3年以上在学した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認められたもの
- (12) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認められたもの
- (13) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認められたもの
- (14) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認められたもの

(注1) 2の「出願資格(2)」に該当する者とは、次のいずれかの者です。

- ① 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与（申請受理）証明書を提出できる者
- ② 学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者

(注2) 2の「出願資格(3)」に該当する「外国において学校教育における16年の課程を修了した者」とは、外国において正規の学校教育における16年の課程を修了した者です。

なお、大学卒業までに16年を要する国で修学した者が、飛び級している場合は、16年目の課程を修了していれば、22歳未満であっても上記に該当します。

- (注3) 2の「出願資格」(9)に該当する「学校教育法第102条第2項の規定により他の研究科に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの」とは、他の研究科へ飛び入学により入学した学生が本研究科へ入学を希望する場合で、「5出願手続(5)出願に必要な書類等」に記載の「⑬他研究科での在学期間証明書」を提出できる者です。
- (注4) 2の「出願資格」(10)～(14)により出願する場合は、出願に先立ち出願資格審査を行いますので、下記「3 出願資格審査」により、期限内に出願資格審査の申請を行って下さい。
- (注5) 2の「出願資格」(12)に該当する「外国において学校教育における15年の課程を修了した者」とは、大学卒業までに15年を要する国において、飛び級し、大学教育を修了した者も含まれます。

### 3 出願資格審査

前記2の「出願資格」(10)～(14)における入学志願者は、出願に先立ち出願資格審査を行いますので、事前に出願資格審査要項を「IV出願書類の提出先(p.31)」に請求し、「申請書類提出期間」に提出してください。

申請書類提出期間 2018年11月 5日(月)～11月 6日(火) (必着)

なお、審査結果は、2018年11月26日(月) (予定)に本人に通知します。

### 4 障がい等のある方の出願

障がい等のある入学志願者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願に先立ち、次により相談してください。

相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間を考慮し、少しでも早く相談してください。

相談締切期限 2018年11月 6日(火)

相談方法 「出願に伴う事前相談書」を請求して医師の診断書、障害者手帳の写し(交付されている方のみ)を添えて、「IV出願書類の提出先(p.31)」に相談してください。

### 5 出願手続

**入学志願者は、出願前のなるべく早い時期に志望指導教員と連絡を取り、研究内容等について相談してください。**

#### (1) 出願方法

入学志願者は、(5)の「出願に必要な書類等」を、出願期間に必着するよう「書留・速達」として郵送してください。

#### (2) 出願期間

2018年12月10日(月)～12月12日(水)

持参する場合の受付時間は、午前8時30分から午後5時00分までです。ただし、正午から午後1時までを除きます。

郵送する場合は、必ず「書留・速達」とし、封筒の表に「大学院環境生命科学研究所博士前期課程一般入試出願書類在中」と朱書して、上記の出願期間に**必着**するように郵送してください。

#### (3) 提出先

「IV出願書類の提出先(p.31)」へ提出してください。

#### (4) 出願上の注意

- ① 出願後の出願書類等の記載内容についての変更は認められません。
- ② 出願書類受理後は、いかなる理由があっても返却しません。
- ③ 出願書類に不備があるもの及び入学検定料に不足のあるものは受理しません。
- ④ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがありますので注意してください。
- ⑤ 改姓(名)前の証明書を使用する場合の提出書類については、志願票の氏名と異なる旧姓(名)の記載された証明書も使用できますが、その場合は、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)を添付してください。

## (5) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類	摘 要
① 志 願 票 受 験 票 写 真 票	本研究科所定の用紙に入学志願者本人が必要事項を記入してください。
② 写真	縦4.0cm×横3.0cm，上半身，無帽，正面向きで出願前3か月以内に撮影したものを2枚を「志願票」，「写真票」の所定欄にのりで貼り付けてください。 貼る前に，写真の裏面に志望専攻名と氏名を記入してください。
③ 入学検定料	<p>30,000円（振込手数料が別に必要です。）</p> <p>入学検定料は，添付の「入学検定料振込用紙」により，金融機関（ゆうちょ銀行又は郵便局を含む。）窓口（ATMは利用できません。）からの振込によって納入し，必ず，「入学検定料振込証明書」を志願票の所定欄にのりで貼り付けてください。</p> <p>入学検定料の返還について</p> <p>次の場合を除き，いかなる理由があっても振込済の入学検定料は返還しません。</p> <p>ア 入学検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合</p> <p>イ 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p>ウ 国費外国人留学生の入学志願者は，原則として入学検定料の納入は不要ですが，2019年3月31日限りで奨学金支給期間が終了する場合は，入学検定料の納入が必要です。</p> <p>なお，奨学金受給期間の延長が認められた場合には，入学検定料を返還します。</p> <p>エ 下記入学検定料の免除に該当する者が，出願期間内に証明書等の取得が困難なため，入学検定料を支払い，所定の出願手続きを行った場合</p> <p>※ 詳細については，本学のホームページ（<a href="http://www.okayama-u.ac.jp">http://www.okayama-u.ac.jp</a>）から「入試」→「入学検定料の返還手続き（インターネット出願）」をご確認ください。</p> <p>入学検定料の免除について</p> <p>本学では，2018年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害により被災した方の経済的負担を軽減し，進学機会の確保を図るために，入学検定料免除の措置を講じます。</p> <p>※ 詳細については，本学のホームページ（<a href="http://www.okayama-u.ac.jp">http://www.okayama-u.ac.jp</a>）から「入試」→「入学検定料の免除」をご確認ください。</p>
④ 学業成績証明書 及び 卒業（見込）証明書	出身大学の学長又は学部長が作成し，作成者が厳封したものを提出してください。 なお，本学の卒業生及び卒業見込みの入学志願者は成績等の確認ができるので，提出不要です。
⑤ 履歴書	最終の学校（大学等）を外国で卒業した入学志願者のみ 本研究科所定の用紙により提出してください。
⑥ 住民票	日本在住の外国人の入学志願者のみ 市区町村長の交付する住民票（在留資格が明記されたもの）を提出してください。
⑦ 国費外国人 留学生証明書	国費外国人留学生の入学志願者のみ （在籍する学校が作成する奨学金支給期間が明記された証明書でも可）

<p>⑧ 学士の学位授与 (申請受理) 証明書等</p>	<p>2の「出願資格」(2)に該当する(見込み)入学志願者のみ、次のものを提出してください。</p> <p>〔学位を授与された入学志願者〕 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書</p> <p>〔学位の授与を申請中の入学志願者〕 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与申請受理証明書</p> <p>〔学位の授与を申請予定の入学志願者〕 短期大学長又は高等専門学校長が作成し、厳封した次の証明書を提出してください。 ア 専攻科の修了見込証明書 イ 学位の授与を申請する予定である旨の証明書(様式任意)</p>
<p>⑨ 受験票等送付用 封筒</p>	<p>所定の封筒に、入学志願者本人の住所、氏名及び郵便番号を明記し、362円分の切手を貼ってください。受験票を送付するのに使用します。</p>
<p>⑩ 連絡受信先シール</p>	<p>受信先住所等を記入してください。</p>
<p>⑪ 入学後の 研究計画</p>	<p>社会基盤環境学専攻 農村環境創成学講座 生命環境学専攻 人間生態学講座</p> <p>上記に該当する専攻・講座の入学志願者は、本研究科所定の用紙により提出してください。</p>
<p>⑫ 英語能力試験の 成績証明書</p>	<p>社会基盤環境学専攻 都市環境創成学講座 資源循環学専攻 持続可能社会形成学講座 } の入学志願者の場合</p> <p>2017年11月以降</p> <p>社会基盤環境学専攻 農村環境創成学講座 生命環境学専攻 環境生態学講座 生命環境学専攻 人間生態学講座(数理領域) 資源循環学専攻 物質エネルギー学講座 生物資源科学専攻 生物生産科学専攻 } の入学志願者の場合</p> <p>2016年12月以降</p> <p>に受験した下記のいずれかの英語能力試験の成績証明書(主催者の証明印のあるものに限り、)の原本を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• TOEIC® (Test of English for International Communications) (公開テスト)</li> <li>• TOEIC® - L&amp;R (Test of English for International Communication—Listening &amp; Reading)</li> <li>• TOEIC® - L&amp;R - IP (Test of English for International Communication—Listening &amp; Reading—Institutional Program)</li> <li>• TOEIC®-IP (Test of English for International Communications—Institutional Program)</li> </ul> <p>団体特別受験制度(カレッジTOEIC®もこれに含まれます。)で受験した場合はScore Sheetの原本を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• TOEFL®-iBT (Test of English as a Foreign Language—インターネットテスト)</li> <li>• TOEFL®-ITP (Test of English as a Foreign Language—Institutional Testing Program)</li> </ul> <p>なお、上記の6種類の英語能力試験科目の複数を受験し、複数の成績証明書を提出した場合は、有利な方の換算点を採用します。</p>
<p>⑬ 他研究科での 在学期間証明書</p>	<p>2の「出願資格」(9)に該当する入学志願者のみ</p>

## (6) 個人情報の利用目的

提出された出願書類等及びこれらに記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務に使用します。

ただし、入学者については、志願票に記載された氏名、性別、生年月日、現住所、出身学校等の個人情報を本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名（漢字・カナ）の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムの業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金等への申請があった場合は、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を入学料徴収猶予等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

## 6 受験票の交付

受験票は、2018年12月17日（月）頃に本人あて発送します。

なお、12月19日（水）までに到着しない場合には、「IV出願書類の提出先（p.31）」に連絡してください。

## 7 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、学力検査等（筆記試験及び口頭試験）及び書類審査の結果を総合して行います。

学力検査等の詳細は、別表（p.9～p.11）を参照してください。

### (1) 試験日程

2018年12月27日（木）

詳細は、別表（p.9～p.11）を参照してください。

### (2) 試験場

試験場は、受験票を送付する際に通知します。

## 8 合格者発表

合格者の発表は、次のとおり掲示により行います。

専攻	日 時	掲 示 場 所
社会基盤環境学専攻	2019年 1月25日（金）10時	環境理工学部 玄関付近掲示板
生命環境学専攻		農学部 玄関付近掲示板
資源循環学専攻		資源植物科学研究所 玄関付近掲示板
生物資源科学専攻		
生物生産科学専攻		

① 掲示板に合格者の受験番号を発表し、同日付けで合格者には合格通知書等を本人あてに送付します。

② 掲示による合格者発表後、ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。

(<http://www.gels.okayama-u.ac.jp/admission/index.html>)

③ 電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

## 9 入学手続

### (1) 入学手続方法

詳細は、合格者に別途通知します。

### (2) 入学手続期間

2019年 3月13日（水）及び 3月14日（木）

## 10 その他

### (1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円(予定額)

授業料(前期分) 267,900円(年額535,800円)(予定額)

※入学時及び在学中に改定が行われた場合には、改定時から新たな金額が適用されます。

### (2) 修学援助

修学援助の一環として、入学料免除・徴収猶予、授業料免除及び奨学金等の制度があります。

### (3) 志願票等の記入方法について

生命環境学専攻 環境生態学講座、生物資源科学専攻 生物機能化学講座及び生物生産科学専攻については、志願票等に受験する専門科目を記入してください。

社会基盤環境学専攻 都市環境創成学講座及び資源循環学専攻 持続可能社会形成学講座については、志願票等に受験する専門科目(2科目又は1科目)を記入してください。

### (4) 募集要項及び出願資格審査要項の請求について

募集要項を郵送で請求する場合は、請求する封筒に「大学院環境生命科学研究科博士前期課程一般入試募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒〔角型2号(縦33.1cm×横24.0cm)に380円分の切手を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記したもの〕を同封し、「IV出願書類の提出先(p.31)」あて申し込んでください。

なお、出願資格(10)～(14)により出願するため、募集要項に併せて出願資格審査要項を請求する者は、上記の請求封筒に「環境生命科学研究科出願資格審査要項請求」と朱書きで併記してください。

## 学力検査等の試験科目，日時及び場所等

## 【一般入試】

専攻・講座		2018年12月27日(木)
社会 基盤 環境 学 専 攻	都市環境創成学講座	<p><b>10:00～12:00</b> <b>専門科目</b> ①構造・材料系，②地盤・地下水系，③水理・水文系，④環境・衛生系，⑤計画・景観系の5つの系から，異なる2つの系にまたがるように2科目を選択してください。それぞれの系の科目は，①が，構造力学，構造材料学の2科目，②が，地盤工学の1科目，③が，水理学の1科目，④が，水質・上下水道学，廃棄物マネジメント，大気環境学の3科目，⑤が，都市地域計画学，交通計画学，景観工学の3科目です。</p> <p>また，岡山大学環境理工学部環境デザイン工学科卒業生・卒業予定者以外の受験者に対しては，上記の①～⑤からの選択数を1科目とし，代わりに，「入学後の研究計画」という形で小論文が課せられます。</p> <p><b>13:30～</b> <b>口頭試問</b> 岡山大学環境理工学部環境デザイン工学科卒業生・卒業予定者以外の受験者に対する口頭試問は，「入学後の研究計画」を重視した内容とします。 岡山大学環境理工学部環境デザイン工学科卒業生・卒業予定者も口頭試問を実施します。</p>
	農村環境創成学講座	<p><b>10:00～12:00</b> <b>専門科目</b> 選択科目については，志望する教育研究分野が指定する科目を選んでください。</p> <p><b>13:30～</b> <b>口頭試問</b></p>
生命 環境 学 専 攻	環境生態学講座	<p><b>10:00～12:00</b> <b>専門科目</b> 森林生態学，土壌生態管理学，水系保全学，昆虫学，生物生産システム工学，資源管理学，農業経営学のうちから志望する教育研究分野が指定する1科目を選択してください。</p> <p><b>13:30～</b> <b>口頭試問</b></p>
	人間生態学講座  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           応用数理学            環境数理解析学            応用数値解析学            環境統計学            環境調査実験解析学         </div> 教育研究分野	<p><b>10:00～12:00</b> <b>専門科目</b> 志望する教育研究分野の指定する科目を受験してください。</p> <p>「応用数理学教育研究分野」 応用数理学（内容は，基礎数学，代数学，確率論です。）</p> <p>「環境数理解析学教育研究分野」 応用数学（内容は，微分方程式，数値解析です。）</p> <p>「応用数値解析学教育研究分野」 応用数学（内容は，微分方程式，数値解析です。）</p> <p>「環境統計学教育研究分野」 統計学（内容は，多変量解析，数理統計学，実験計画法です。岡山大学環境理工学部環境数理学科の授業「計量アナリシスI，数理統計学I，数理統計学II，統計学II」のWebシラバスに公開されている内容に相当します。）</p> <p>「環境調査実験解析学教育研究分野」 統計学（内容は，多変量解析，数理統計学，実験計画法です。岡山大学環境理工学部環境数理学科の授業「計量アナリシスI，数理統計学I，数理統計学II，統計学II」のWebシラバスに公開されている内容に相当します。）</p> <p><b>13:30～</b> <b>口頭試問</b> 「入学後の研究計画」の内容に関する口頭試問を行います。なお，必要に応じて口頭試問の中で，志望分野の基礎学力に関する試問を行います。</p>

専攻・講座		2018年12月27日(木)
生命環境学専攻	人間生態学講座 〔環境疫学〕 〔国際保健学〕 教育研究分野	<p><b>10:00~12:00</b> 外国語科目(英語)及び専門科目</p> <p><b>13:30~</b> 口頭試問 「入学後の研究計画」の内容に関する口頭試問を行います。 なお、必要に応じて口頭試問の中で、志望分野の基礎学力並びに英語(外国人に対しては日本語を含む)の能力に関する試問を行います。</p>
資源循環学専攻	持続可能社会形成学講座	<p><b>10:00~12:00</b> 専門科目 ①構造・材料系, ②地盤・地下水系, ③水理・水文系, ④環境・衛生系, ⑤計画・景観系の5つの系から、異なる2つの系にまたがるように2科目を選択してください。それぞれの系の科目は、①が、構造力学、構造材料学の2科目、②が、地盤工学の1科目、③が、水理学の1科目、④が、水質・上下水道学、廃棄物マネジメント、大気環境学の3科目、⑤が、都市地域計画学、交通計画学、景観工学の3科目です。 また、岡山大学環境理工学部環境デザイン工学科卒業生・卒業予定者以外の受験者に対しては、上記の①~⑤からの選択数を1科目とし、代わりに、「入学後の研究計画」という形式の小論文が課せられます。</p> <p><b>13:30~</b> 口頭試問 岡山大学環境理工学部環境デザイン工学科卒業生・卒業予定者以外の受験者に対する口頭試問は、「入学後の研究計画」を重視した内容とします。 岡山大学環境理工学部環境デザイン工学科卒業生・卒業予定者も口頭試問を実施します。</p>
	物質エネルギー学講座	<p><b>10:00~12:00</b> 専門科目 必須科目として物理化学から2問出題します。選択科目として、有機化学、無機化学、化学工学から各2問ずつ計6問を出題します。そのうちから3問選択してください。 なお、成績優秀者を対象として、成績証明書に基づく書類審査により専門科目の筆記試験を免除し、口頭試問のみを課す場合があります。 筆記試験免除者への通知は、受験票送付の際に併せて行います。</p> <p><b>13:30~</b> 口頭試問 岡山大学環境理工学部環境物質工学科卒業生・卒業予定者のうち、筆記試験受験者は口頭試問を免除します。 また、岡山大学環境理工学部環境物質工学科卒業生・卒業予定者以外の受験者に対しては、口頭試問の結果を重視します。</p>

試験場：試験場は、受験票を送付する際に通知します。



日 時 専 攻 ・ 講 座		2018年12月27日(木)	
		専門科目 10:00~12:00	□頭試問 13:30~
生物資源科学専攻	生物機能化学講座	講座共通科目 「講座共通科目」は、「有機化学基礎、生物化学基礎、応用微生物学基礎」の範囲から出題します。	□頭試問
	植物ストレス科学講座		□頭試問
生物生産科学専攻	植物機能開発学講座	植物病理学、遺伝子工学、植物遺伝学、作物遺伝育種学、園芸利用学、作物生産学、果樹園芸学、野菜花卉園芸学、作物学のうちから志望する教育研究分野が指定する1科目を選択してください。	□頭試問
	動物機能開発学講座	家畜繁殖学、動物発生工学、動物生理学、家畜育種学、動物遺伝学、動物栄養学、動物応用微生物学、生殖補助医療学のうちから志望する教育研究分野が指定する1科目を選択してください。	□頭試問

試験場：岡山大学農学部（岡山市北区津島中1-1-1）

（注1） □頭試問の試験室等は、試験日に指示します。

## IV 出願書類の提出先

専攻等	出願書類の提出先
社会基盤環境学専攻 都市環境創成学講座 農村環境創成学講座  生命環境学専攻 人間生態学講座  資源循環学専攻 持続可能社会形成学講座 物質エネルギー学講座	岡山大学自然系研究科等 環境理工学部事務室 教務担当  〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 TEL 086 (251) 8815, 8816
生命環境学専攻 環境生態学講座  生物資源科学専攻  生物生産科学専攻	岡山大学自然系研究科等 農学部事務室 教務学生担当  〒700-8530 岡山市北区津島中1-1-1 TEL 086 (251) 8286

(注) 出願資格審査要項の請求, 出願資格審査書類の提出, 募集要項の請求及び  
 問い合わせについても, 上記にて行います。

環境生命科学研究科URL     <http://www.gels.okayama-u.ac.jp/>  
 岡山大学URL                 <http://www.okayama-u.ac.jp/>

## V 専攻案内

専攻の内容については, 環境生命科学研究科 HP の下記 URL を参考にしてください。

研究科概要: [http://www.gels.okayama-u.ac.jp/intro/journal/gels\\_gaiyou.html](http://www.gels.okayama-u.ac.jp/intro/journal/gels_gaiyou.html)

都市環境創成学講座     : [http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza\\_toshi.html](http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza_toshi.html)  
 農村環境創成学講座     : [http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza\\_nouson.html](http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza_nouson.html)  
 環境生態学講座         : [http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza\\_kankyo.html](http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza_kankyo.html)  
 人間生態学講座         : [http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza\\_ningen.html](http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza_ningen.html)  
 持続可能社会形成学講座: [http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza\\_jizoku.html](http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza_jizoku.html)  
 物質エネルギー学講座   : [http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza\\_energy.html](http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza_energy.html)  
 生物機能化学講座       : [http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza\\_biochem.html](http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza_biochem.html)  
 植物ストレス科学講座   : [http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza\\_pstress.html](http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza_pstress.html)  
 植物機能開発学講座     : [http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza\\_plant.html](http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza_plant.html)  
 動物機能開発学講座     : [http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza\\_animal.html](http://www.gels.okayama-u.ac.jp/profile/kouza_animal.html)